

図書館情報メディア研究科 図書館情報メディア専攻（博士後期課程）

平成27年度以降の入学者

講義科目

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02MA105	情報知識化方法研究	1	2.0	1 - 3	秋AB	金5,6	研究室	中山 伸一	情報知識化に利用される種々の方法論およびそれを利用した知識化事例を、実証的かつ批判的に考察する。主としてタンパク質情報や化学情報などの自然科学情報および感性情報を対象とする。	要望があれば英語で授業
02MA106	専門知識形成研究	1	2.0	1 - 3					宋代以降の宗教・民俗・社会についての実際の論文について、その学説が引用されている資料からどのように導き出され、その際にどのような理論が前提とされているかなどを分析し、この分野における新たな知識の形成を考究する。	2018年度開講せず。 Lectures are conducted in Japanese.
02MA108	専門情報・資料研究II (文学)	1	2.0	1 - 3	秋AB	水7,8	研究室	綿抜 豊昭	江戸時代以前に成立した文学資料を対象として、調査研究し、その時期の文化状況について論及する。	Lectures are conducted in Japanese.
02MA109	専門情報・資料研究III (社会)	1	2.0	1 - 3	春AB	木3,4	研究室	後藤 嘉宏	メディア論におけるメディア史の時代区分に焦点を当てて論じる。講義担当者は中井正一のメディア論を研究している。したがってまず授業の前半部分は中井正一のメディア論におけるメディア史の時代区分について、中井の他の側面と照らし合わせながら、講義する。そのあと、アレント、マクルーハン、オング、ベンヤミン、フーコーなどの広い意味でのメディア論・言語論・芸術論におけるメディア史の時代区分との対比のなかで、中井の独自性あるいは限界を浮き彫りにする。授業は主に講義形式で行うが、講義形式での説明の前に、毎回上記論者の邦語邦訳書物を受講者の誰かが一冊読んで報告する。さらに上記論者に関する最新の英語文献、あるいは存命のメディア論者の英語文献をこちらで選び、報告して貰う機会も設ける。それらの部分は演習形式となる。	図書館情報メディア専攻英語プログラム学生からの要望があれば英語で授業 02DMM07と同一。
02MA110	国際教育文化政策研究	1	2.0	1 - 3	春AB	土2,3	研究室	溝上 智恵子	アメリカやカナダといった北米地域の多民族国家において、情報メディアを通じて民族的アイデンティティがいかに形成されてきたかについて考察する。なかでも教育文化分野に焦点をあて、国民統合の視点から政策形成の過程を歴史的に論じつつ、多文化的状況についても検討する。	要望があれば英語で授業
02MA113	インタラクティブ情報検索研究	1	2.0	1 - 3	春AB	月1,2		上保 秀夫	人間と情報検索システムのインタラクションについて、認知的・感情的・行動的側面から考察する。特に、情報検索行動の行動分析、検索インタフェース機能の設計、対話的支援システムの実装と評価などを扱う。	要望があれば英語で授業 研究室で実施
02MA114	生命情報学研究	1	2.0	1 - 3	秋AB	水1,2	研究室	真栄城 哲也	生命が持つ情報の側面（遺伝情報や脳活動、関係性ネットワーク）を扱う。さらに、近年の生物学の研究において、必須となっている情報学の考え方や手法を、関連する生命現象とともに扱う。	Lectures are conducted in Japanese.
02MA116	情報化社会研究	1	2.0	1 - 3	秋AB	応談		湯川 朋彦		Lectures are conducted in Japanese.
02MA117	情報メディア・コミュニケーション研究	1	2.0	1 - 3	秋AB	応談		木暮 啓		Lectures are conducted in Japanese.
02MA119	情報法研究	1	2.0	1 - 3	春AB	火3,4		石井 夏生利	情報技術がより一層高度化する中で、法はいかなる役割を果たすことができるかについて、比較法的に検討する。特に最近では、AIの発展によって人とロボットの境界が曖昧になるといった事象も生じつつある。本科目では、情報社会の中でまだ検討がなされていない未開拓の領域に踏み込んだ法的テーマを発見し、討論を行う。	Lectures are conducted in Japanese. 研究室で実施
02MA120	知識情報基盤研究	1	2.0	1 - 3	春AB	木5,6		呑海 沙織	知識や情報の流通・共有・活用・蓄積が新たな価値を生み出す「知識情報社会」を支える社会的基盤である知識情報基盤について、そのプレーヤーや役割、関係性について議論を行う。	Lectures are conducted in Japanese. 研究室で実施
02MA121	アーカイブズ研究	1	2.0	1 - 3	春AB	月7,8		白井 哲哉	日本の地域アーカイブズを事例として、その調査、収集、整理、保存、閲覧提供、幅広い活用をめぐる諸問題について研究する。対象は、公文書や民間所在資料(古文書)のほか、近年の重要な課題である被災資料・災害資料も積極的に扱う。	Lectures are conducted in Japanese. 研究室で実施
02MA122	知識哲学研究	1	2.0	1 - 3	秋AB	火5,6		横山 幹子	知識について考えるための哲学における背景、現代哲学における知識をめぐる諸問題等について論じる。具体的には、知識論、認識論の歴史を振り返り、それらを踏まえたうえで、知識の内在主義や外在主義について考える。	要望があれば英語で授業

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02MA123	著作権法研究	1	2.0	1-3	秋AB	火5,6		村井 麻衣子	現代社会における著作権制度の課題を踏まえ、法的な観点から著作権法の意義やあり方について論じる。著作権法に関する裁判例、評釈、論文等を題材として議論等を行い、著作権制度に対する理解や考察を深めることを目的とする。	Lectures are conducted in Japanese.
02MA124	映像メディア研究	1	2.0	1-3	秋AB	金7,8		辻 泰明	インターネットの普及・高速化にともない、従来の映画、テレビに加えてインターネット動画という映像メディアも台頭してきている。本授業では、各映像メディアによって多様なコンテンツが社会に伝播し、新たな規範や文化が醸成されつつある現状を踏まえて、映像コンテンツの側から情報を整理し体系化するとともに、各メディアにおける映像コンテンツの特徴、社会的影響を分析し、新たなコンテンツやサービスの開発を視野に入れて論じる。	
02MA306	情報分析研究	1	2.0	1-3	秋AB	木5,6		緑川 信之	情報メディアの内容に関する分類の分析手法、その理論的背景と意義、分析結果の表現手段などについて論ずる。具体的には、各種分類法の歴史と比較について考究する。	Lectures are conducted in Japanese. 研究室で実施
02MA307	情報メディア組織化研究	1	2.0	1-3					情報メディアの組織化および情報メディアに含まれる情報の組織化について、対象の分析・構造化とその記述・表現手法、さらには記述・表現結果の共有と統合などについて論ずる。	2018年度開講せず。 要望があれば英語で授業 研究室で実施
02MA310	データベース資源活用研究	1	2.0	1-3					データベース資源の解析に利用しうる各種の方法、および解析における問題点について、事例に基づいて考察する。データベース資源の解析結果に基づき、知識を発見し活用するための実践的な方法について論じる。	2018年度開講せず。 Lectures are conducted in Japanese.
02MA311	ライブラリー・ガバナンス研究	1	2.0	1-3	春AB	金7,8	研究室	逸村 裕	図書館におけるガバナンスを論じる。基礎的なガバナンスの理解をもとに今日の社会及び情報環境の変容に対して、図書館がどのようなガバナンスのもとにその対応を果たすべきかを検討する。具体的な事例および図書館に関わるデータをもとにあるべきガバナンスの在り方を研究する。	要望があれば英語で授業
02MA312	学校メディアセンター運営研究	1	2.0	1-3	秋AB	木3,4	研究室	平久江 祐司	学校メディアセンター運営研究の対象とする領域は、多様なメディアを備えた学校図書館の経営管理に関する基礎領域から、カリキュラム開発や利用教育、経営主体としての専門家養成などの応用的な領域にわたる。本研究では、これらの研究領域における課題に焦点をあて実証的に論じる。	Lectures are conducted in Japanese.
02MA313	情報メディアサービス研究	1	2.0	1-3	春AB	火5,6	研究室	吉田 右子	公共図書館は利用者の人種、民族、ジェンダー、性的志向、年齢といった文化的特性を考慮した上で、適切なサービスを提供する必要がある。本授業はこの領域で先進的な実践活動を展開している北欧公共図書館に焦点を当てる。具体的にはデンマーク、スウェーデン、ノルウェーそれぞれの公共図書館サービスの実践と理念を概観しながら、マイノリティ集団を対象とした図書館サービスの現状、課題、可能性を議論する。	Lectures are conducted in Japanese.
02MA314	情報コミュニティ計画研究	1	2.0	1-3	春AB	火3,4	7A204	歳森 敦	コミュニティにおいて情報流通や知識共有を担う施設とサービスに関して、数量的な観点から計画と評価を行う。具体的には選択行動モデルについて議論する。	要望があれば英語で授業
02MA315	データサイエンス発展研究	1	2.0	1-3					図書館情報現象を記述するための手法のうち、より高度なものを扱う。	2018年度開講せず。 要望があれば英語で授業
02MA316	メディア影響研究	1	2.0	1-3	春AB	水7,8	研究室	鈴木 佳苗	メディアの影響、メディア教育の環境や効果を検討するための研究方法や分析について論じる。	Lectures are conducted in Japanese.
02MA317	知識資源の調査研究	1	2.0	1-3	春AB	木5,6	研究室	辻 慶太	図書館における学習支援の現状について、量的、質的研究の両面から探求する。	要望があれば英語で授業
02MA318	計量情報学研究	1	2.0	1-3	秋AB	火3,4	研究室	芳鐘 冬樹	(1) 情報の生産・流通・蓄積・利用のパターンの解明、(2) 情報の計量の実際的な応用、という2つの面から、計量情報学の理論的前提と分析手法の効用・限界について議論する。また、科学計量学、計量言語学、計量ウェブ学などの関連研究領域における最新の知見を踏まえ、計量情報学の今後の展望についても考究する。	Lectures are conducted in Japanese.
02MA502	メディア物理研究	1	2.0	1-3	秋AB	火5,6	研究室	松本 紳	近年、磁性記録媒体、光磁気記録媒体、光記憶媒体などの大容量化が進み、情報システムにおけるメディア機器の重要性はますます増大してきている。本講義では、これら各種メディアの物理的性質を理論物理の手法を用いて解明する。具体的には、第一原理計算によって得られる知見と種々の物性との関連を解説する。	要望があれば英語で授業
02MA503	情報アクセスシステム研究	1	2.0	1-3	春AB	木1,2	研究室	佐藤 哲司	ネットワーク化される多様な情報・コンテンツに自在にアクセスするための検索・流通・個人化技術の高度化とシステム化手法について深掘する。具体的な課題を設定して、関連する要素技術、システム構築技術等を論ずる。	Lectures are conducted in Japanese.

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02MA506	数値処理研究	1	2.0	1-3	春AB	火1,2	7A204	長谷川 秀彦	ページランクの計算や SVM には、数理的手法に基づいた大規模な計算が必要になる。数値シミュレーション以外の分野で使われる数値処理を対象に、その理論的側面と高性能計算機への実装について考究する。評価項目かをきちんと設定したうえで公平な評価ができるような関連知識をマスターしてもらい、実装した手法についてメリット・デメリットを評価させる。 本講義で対象とするのは、主に数値線形代数分野のアルゴリズムで、連立一次方程式の直接解法、反復法、固有値解析、特異値問題などである。実装対象としては、逐次処理、共有メモリ型並列処理 (OpenMP)、分散メモリ型並列処理 (MPI)、コプロセッサ (GPU) などを扱う	Lectures are conducted in Japanese.
02MA508	数式処理システム研究	1	2.0	1-3	秋AB	火5,6	研究室	森継 修一	情報メディアシステムの構成要素としての数学的ソフトウェアの将来像を考究する。現在の数式処理システムに、さらに高度な機能を持たせるため、最先端のアルゴリズムを開発し実現する手法について論じる。	Lectures are conducted in Japanese.
02MA509	情報伝達共有システム研究	1	2.0	1-3	秋AB	火5,6	研究室	阪口 哲男	情報のデジタル的取得、加工、蓄積、伝達、提示のための各種メディア技術とその統合方式について論究する。ネットワーク環境に親和性のあるデジタルメディア技術、各種メディアの統合と役割分担について考究する。	要望があれば英語で授業
02MA510	知識情報空間研究	1	2.0	1-3	春AB	木1,2	研究室	宇陀 則彦	本講義は人の持つ知識と記録された知識から構成される知識情報空間について研究する。	要望があれば英語で授業
02MA511	構造化文書処理技術研究	1	2.0	1-3	春AB	木3,4	研究室	鈴木 伸崇	主にXMLなどの構造化文書に関して、スキーマ定義言語、検索言語、変換言語などの形式的表現やそれらの表現力について論じる。また、XSLT型検査問題やXPath充足可能性問題など、重要性の高い問題に関する計算複雑さについて考究する。	要望があれば英語で授業
02MA515	情報探索システム研究	1	2.0	1-3	秋AB	月5,6		高久 雅生	情報探索に関わる研究動向について論じる。	要望があれば英語で授業 研究室で実施
02MA516	データ解析研究	1	2.0	1-3	春AB	火3,4		手塚 太郎	機械学習や統計学に基づくデータ解析プログラムの開発を行ない、実データに対する実験を通してアルゴリズムの改良のための研究を行う。必要に応じてアルゴリズムの有効性について理論的解析を行う。	要望があれば英語で授業
02MA517	自然言語処理研究	1	2.0	1-3					自然言語処理の最先端の技術である統計的自然言語処理について学ぶ。言語モデルの基礎的な考え方を学んだ後に、トピックモデル、単語の分散表現等の技術について学び、最後にこうした技術を活用した応用として、機械翻訳や意見分析について学ぶ。	2018年度開講せず。 要望があれば英語で授業
02MA702	情報認知研究	1	2.0	1-3	秋AB	木3,4	研究室	平賀 譲	人間の持つ思考、言語、知覚、感性などの認知的能力について、主として情報科学的・計算論的観点からの研究への取り組みと、それらの認知的能力を計算機上で実現する方法について論ずる。音楽認知、言語理解、論理的推論などのうち構造認知的な性格の強い側面についての計算論的モデル化を論ずる。	要望があれば英語で授業
02MA705	コンテンツ流通基盤技術研究	1	2.0	1-3	春AB	月5,6	研究室	杉本 重雄	ネットワーク上におけるコンテンツ流通のための基盤技術に関して、デジタルライブラリ、デジタルアーカイブとそれを支えるメタデータを中心テーマとし、情報技術の研究技術的側面を中心にいろいろな側面から議論する。	要望があれば英語で授業
02MA706	ネットワークコミュニケーション基盤研究	1	2.0	1-3					情報通信ネットワークにおける技術的なパラダイムシフトと、それが社会もたらすインパクトを究明する。具体的には、インターネット、モバイル、ユビキタス、クラウドをキーワードに、変化が起きるプロセスを文献と事例に基づいて探求する。	2018年度開講せず。 要望があれば英語で授業
02MA707	コンテンツ形成手法研究	1	2.0	1-3	春AB	火4,5	研究室	西岡 貞一	コンテンツとは何かについて文化、産業、技術、制度といった4つの視点から議論する。映画、放送、広告、ICTといったメディア産業での事例を基に、メッセージや知識を伝えるための方法論を考察する。	Lectures are conducted in Japanese.
02MA711	知能システム研究	1	2.0	1-3	春AB	月3,4	研究室	三河 正彦	知能ロボットをはじめとする知能システムに関する要素技術、システム構築のための理論、応用例等、最新動向を交えながら解説・議論する。	Lectures are conducted in Japanese.
02MA712	情報デザイン表現研究	1	2.0	1-3	秋AB	火3,4		金 尚泰	コンピュータグラフィックスの歴史的流れと位置づけを踏まえたCG技術の基本的な原理を理解し、それを活かした表現手法や活用について考察する。また、最新の技術動向を把握することで、映像分野におけるあらたな表現手法のアイデア展開とともに芸術・デザイン分野におけるCGの活用について学ぶ。	Lectures are conducted in Japanese.
02MA716	画像情報表現メディア応用基盤研究	1	2.0	1-3						2018年度開講せず。 Lectures are conducted in Japanese.

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02MA717	情報表現システム技術開発研究	1	2.0	1 - 3	秋AB	応談		小川 恵司		Lectures are conducted in Japanese.
02MA718	印刷メディア表現文化研究	1	2.0	1 - 3	秋AB	応談		宗村 泉		Lectures are conducted in Japanese.
02MA719	コンテンツ共有基盤技術研究	1	2.0	1 - 3	春AB	水6,7		森嶋 厚行		要望があれば英語で授業 研究室で実施
02MA720	コミュニケーション環境技術研究	1	2.0	1 - 3	秋AB	月3,4		井上 智雄	現代のコミュニケーションの機会は対面によるものだけでなく、情報機器やコンピュータネットワークを利用したものを含めて多様化している。これらのコミュニケーション環境は人のコミュニケーションそのものや協調活動に大きな影響を与える。 本科目では、コミュニケーションや協調活動を支援・拡張する情報環境について、最新の研究を題材に、その目的・設計・実装技術・影響等の点から考究する。	要望があれば英語で授業 研究室で実施
02MA721	デジタルネイチャー研究	1	2.0	1 - 3	春AB	金4,5		落合 陽一	本講義では、課題創造のための事例調査、関連研究をまとめるためのサーベイ、そして計算機隣接分野でのケーススタディを中心とした問題解決を主眼に議論する。具体的には、受講者にとって身近な問題を発見し、プレゼンテーションを行いながらプロトタイプを論じる。	研究室で実施
02MA722	認知心理学研究	1	2.0	1 - 3	秋AB	金3,4		森田 ひろみ	認知心理学の基礎や最新の研究を論文で学び、日常生活の中から研究テーマを発見し、認知心理学的観点から仮説構築し、心理実験により検証する技能を身につける	教員研究室で行う 日本語 Lectures are conducted in Japanese.

演習科目

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02MA200	情報メディア特別演習 Ia	2	1.0	1	春ABC	応談		図書館情報メディア専攻後期担当教員		要望があれば英語で授業
02MA220	情報メディア特別演習 Ib	2	1.0	1	秋ABC	応談		図書館情報メディア専攻後期担当教員		要望があれば英語で授業
02MA400	情報メディア特別演習 IIa	2	1.0	2	春ABC	応談		図書館情報メディア専攻後期担当教員		要望があれば英語で授業
02MA420	情報メディア特別演習 IIa	2	1.0	2	秋ABC	応談		図書館情報メディア専攻後期担当教員		要望があれば英語で授業
02MA600	情報メディア特別演習 IIb	2	1.0	2	春ABC	応談		図書館情報メディア専攻後期担当教員		要望があれば英語で授業
02MA620	情報メディア特別演習 IIb	2	1.0	2	秋ABC	応談		図書館情報メディア専攻後期担当教員		要望があれば英語で授業
02MA800	情報メディア特別演習 IIIa	2	1.0	3	春ABC	応談		図書館情報メディア専攻後期担当教員		要望があれば英語で授業
02MA810	情報メディア特別演習 IIIa	2	1.0	3	夏季休業中	応談		図書館情報メディア専攻後期担当教員		早期修了予定者のみ受講可 要望があれば英語で授業
02MA820	情報メディア特別演習 IIIb	2	1.0	3	秋ABC	応談		図書館情報メディア専攻後期担当教員		要望があれば英語で授業
02MA830	情報メディア特別演習 IIIb	2	1.0	3	春季休業中	応談		図書館情報メディア専攻後期担当教員		早期修了予定者のみ受講可 要望があれば英語で授業